

## 島根大学研究見本市

研究テーマ名 浮遊性有孔虫化石を用いた年代決定

(英訳) Age Correlation using Fossil Planktonic Foraminifera

### 研究者紹介

林 広樹 (総合理工学研究科・准教授)

Hiroki Hayashi (Associate Professor, Interdisciplinary Graduate School of Science and Engineering)

### 概要

地層の堆積年代を決定するために、地層に含まれている微小な化石（微化石）が使われます。浮遊性有孔虫は大きさが 1mm 以下の微小な海洋プランクトンで、海流に乗って世界中に分布しています。私は国内外の陸上・海底に分布する地層を調べ、様々な浮遊性有孔虫種がどのような生存期間を有しているのかを詳しく調べています。それにより、浮遊性有孔虫の出現や絶滅を基準とした年代尺度を改良しようとしています。

Microfossils are frequently used for correlating marine strata. Planktonic foraminifera is a kind of microplankton less than 1 mm in size. I investigate detailed evolutionary age of each planktonic foraminiferal species based on analyses of strata in land sections and deep-sea cores. My aim is to construct and refine the planktonic foraminiferal time scale.

### 特色 研究成果 今後の展望



国際的な深海掘削プロジェクト、統合国際深海掘削計画 (Integrated Ocean Drilling Program, IODP) の第 315 次航海 (熊野沖, 2007 年) と第 321 次航海 (東部赤道太平洋, 2009 年) に参加し、それぞれ浮遊性有孔虫の分析を担当しています。2012 年度はその分析の一部が完了し、浮遊性有孔虫年代を詳細に決定して国際誌にその成果を投稿しました。今後も世界各国の研究者と連携し、共同研究を進めていきます。

国内では宮城県仙台地域や島根県大田地域などに分布する中新世中期 (およそ 1500 万年前) の地層の浮遊性有孔虫年代を決定し、成果を論文に投稿しました。(左図は浮遊性有孔虫の写真, 右図は IODP 第 315 次航海で乗船した地球深部探査船「ちきゅう」)

### キーワード

化石, 古生物学, 地質学, 層序学, 浮遊性有孔虫, 年代決定

### リンク

一般の方々への解説は以下のウェブページにあります。  
<http://www.geo.shimane-u.ac.jp/hayashi/kenkyu.html>